

第5回（平成24年11月期）番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成24年11月28日（水）17:00～18:00

2. 開催場所 会議室

3. 委員の出席状況

委員総数 8名

出席委員 8名 西修・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・平川愛恵・
宮川清

放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議題

番組審議

第5回審議番組：「まちはイキイキきらめきタイム 佃の技術のつくだ煮」

（コーナー15分と番組冒頭、終了部分を含め、計27分15秒）

10月12日（金）12:00～13:25 放送

10月12日（金）21:00～22:25 再放送

パーソナリティ：佃由晃さん（ゆかり放送委員会、NPO法人エフエムわいわい正会員）

ゲスト：花房浩治さん（神戸市長田区 花房畳店）

ディレクター・ミキサー・パーソナリティ：金千秋（FMわいわい）

「まちはイキイキきらめきタイム」は毎週月曜日～金曜日正午から、主に生放送でお送りする情報番組で、曜日毎に様々なパーソナリティが担当している。

金曜日12時30分からのコーナーは、それぞれの担当者が工夫を凝らした内容となっており、特に第2金曜日は「佃の技術のつくだ煮」と題して、佃さんが町中の匠やこだわりの職人、地元の会社について、ゲストを招くなどして紹介するコーナーである。

5. 議事の概要

番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

【宮川清委員】

- ・ 佃さんが十分に下調べをしてからインタビューに臨んでいるのが聴いていてよくわかり、内容については特にいうことがないほど聴きやすかった。
- ・ 佃さんの仕事が技術屋さんであったというのが納得できる内容であった。

【平川愛恵委員】

- ・ 番組のオープニングトークは原稿を読んでいるのが感じられ、まだパーソナリティに慣れていないことが伝わってきたが、コーナーが始まるとがらりと雰囲気が変わった。
- ・ 自分が興味がある事を自ら取材して話題にしているので、喋りも別人のようであった。
- ・ 「技術を聞く」というテーマがしっかりとおさえられていた。
- ・ 畳というものに新しい発見があるなど、面白く聴くことができた。
- ・ コーナーが終わるとまた元の雰囲気に戻り、真面目な人柄が伝わってきた。

【正岡健二委員】

- ・ 昼の番組としてとても聴きやすかった。話すスピード、間の取り方、まとめ方も素晴らしくラジオらしいトークであった。
- ・ 佃さんはかなり深いところまでリサーチをし、十分に理解してから番組に臨んでいるが、自分の意見は持っているでもそれを表に出さずにゲストの話をととてもよく引き出していた。

- ・ ラジオ番組のインタビューのスタイルの手本になるようなものであり、他の番組担当者も参考にしてもらいたい。
- ・ もっと感情表現が豊かにできると完璧である。
- ・ 番組のイントロダクションが長く何の番組が始まったのかがわからないので、変えた方がよいと思われる。

【萩尾利雄委員】

- ・ オープニングトークで番組内容をあらかじめ紹介するのはよい。
- ・ 佃さんのお話はとても聴きやすかった。
- ・ 放送で話すネタを十分に探しているのが聴いていてよくわかり、何を放送するかを研究されていると思う。
- ・ 畳の話は私の仕事柄よく知っているのので、花房さんの話も聴きやすかった。

【木辻清子委員】

- ・ 正岡委員と同じで、オープニングの曲が長く何が始まったのかがわからなかった。
- ・ 佃さんと花房さんの話は、畳の知識がなくても興味を持って聴くことができた。話の中にどんどん入っていくことができ、知らないこと、初めてきくことがたくさんあったがとても勉強になった。

【山本幸男委員】

- ・ オープニングとエンドのトークは原稿をキチンと読まなければならないという緊張感が伝わってきた。読み終わったら金さんと目が合うという話が面白かった。
- ・ 畳の話題のところでは、ゲストの話に佃さんが言葉をかぶせずにきっちりと会話をしている聴きやすかった。

【為岡務委員】

- ・ 花房さんは地域の消防団の仲間がよく知っている。兵庫県で表彰されるほどの技能者であり、平常心を持って毅然としたことができる人である。
- ・ 佃さんも面白く、研究熱心な人である。

【西修委員長】

- ・ 花房さんの声はラジオ向きではないように思えたが、自身の仕事や技術の説明を喋り慣れているようで、「あの～」とか「え～」というのがなくとても聴きやすかった。
- ・ 中身も興味を持って聴くことができた。下調べがきちんとされていて、緻密に組み立てられている印象であった。
- ・ あえて欠点を挙げれば、質問のスタイルが見え見えなので、ちょっとわざとらしかった。知っていることでも、初めて聞くような雰囲気を出してほしい。
- ・ 喋っている部分でも BGM が大きいところがあったので気をつけてもらいたい。

【放送事業者側出席者：平野由美子】

- ・ 佃さんは、ゆうかり放送委員会のメンバーから FM わいわいに関わっていただくようになり、正会員でもいらっしゃる。
- ・ この番組は月曜日から金曜日までの昼の帯番組なので、いろいろな方に番組を担当してもらいたく、今年の5月からパーソナリティに参加していただいた。
- ・ 初めてパーソナリティを担当するにあたり、オープニングやコーナー進行する際原稿をお渡ししたところ、そのとおりに読んでいます。まだ半年ほどの経験なのでこれからに期待する。
- ・ 元々技術畑の仕事になさって来た方で、なんでも緻密に練ってこられる。取材をしたら写真や映像でストーリーを作っているが、少々作りこみ過ぎと感じる。
- ・ 取材先やゲストの選択は信頼している。
- ・ 帯番組なのでどの曜日でも BGM は同じものを使用しているが、佃さんの声の雰囲気や話の内容を考えると、BGM をなくした方がじっくりと聴いていただけないか。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日
 - ・ 次回番組担当前に担当者に伝える予定（平成 24 年 12 月 13 日まで）
8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日
 - ・ 公表内容…議事の内容
 - ・ 公表方法…自社放送（平成 24 年 12 月 1 日 12：00～13：55 の番組内で放送予定）
事務所に議事録の備置き（平成 24 年 12 月 3 日）
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>
9. その他参考事項
特になし

以上